大学院

風みどり

〔懸賞・上級〕
51 手以上

双玉作品が紙面を飾ることが珍しくなくなってきた。攻方の玉は普段から見慣れている存在である。駒の動きが変化する訳でもなく、解答する立場にとっては、王手放置禁も日頃のユビ将棋では日常的に接しているので、受け入れやすいのかもしれない。

しかし創作する立場にとっては、新しいルールの導入である。敵駒の利きにさらし続けてはいけないという特殊駒を増やそうというのだ。砲やナイトライダーを導入するのとさしたる違いはないのだ。

単玉ルールでどんな表現が可能か。その極北を究めようとしている作家達がいる。「双玉使えば簡単だよ」というアドバイスは無意味なのだ。

メール解答は

kazemidori+para@gmail.com

院 3　入選●回

北九州市　**堀切良太**

院 4　入選●回

川崎市　**添川公司**

「陽炎」